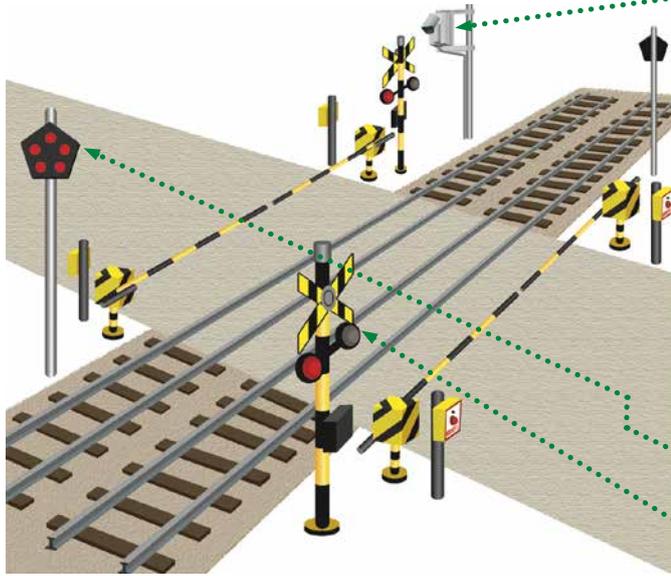


踏切の安全対策

踏切での事故を防ぐために、さまざまな対策を行っています。



踏切監視カメラ

踏切事故の抑止手段、事故発生時の状況確認手段を確立する必要性が高まっていることから、東急線全線（こどもの国線を除く）では踏切監視カメラを設置しています。



非常ボタン



踏切内に人や車が立ち往生してしまったときなど緊急の場合に、非常ボタンを押すと、特殊信号発光機が赤く点滅して接近する列車の運転士に異常を知らせます。東急線内全ての踏切に設置しています。

特殊信号発光機



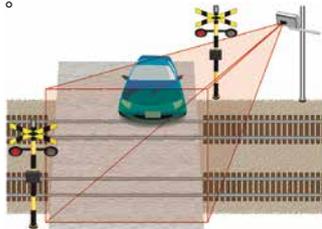
また、東横線・目黒線・大井町線・こどもの国線では、ATCと連動しているため、接近する列車を自動的に減速させます。（田園都市線には踏切はありません）

光線式、3D式踏切障害物検知装置

踏切障害物検知装置は、自動車などが踏切で立ち往生した場合にセンサーが検知し、接近する列車の運転士に異常を知らせる信号を送る装置です。当社では、2021年7月に自動車通行禁止の踏切を含む全135か所の踏切に設置を完了しました。

▶3D式踏切障害物検知装置の導入

当社では、障害物の検知精度が高い3Dセンサーを使用した装置を2013年度より導入開始し、2021年3月末までに93踏切に設置済みです。引き続き3D式踏切障害物検知装置の導入を行っています。



3D式踏切障害物検知装置の検知イメージ



非常ボタンは、踏切内に人や車などが立ち往生しているなど緊急の場合に押してください。

警報灯

通行する車や人が踏切から一定の距離以上離れていても視認できるように警報灯を設置しています。視認性の向上施策として、車のドライバーから見えやすい全方位警報灯を一部の踏切道に導入しています。



一部の踏切道に導入している全方位警報灯

地下トンネル区間の安全対策

列車が地下トンネル区間で緊急停止した際、安全に避難できるように対策を行っています。

● すいどう 隧道照明の増設

お客さまが避難のためにトンネル内を歩行する際、足元を確認しやすいよう照明を増設しています。



隧道照明

〈増設区間〉

東横線：田園調布駅～多摩川駅
田園都市線：渋谷駅～用賀駅

● 蓄光看板

トンネル区間において、蓄光式の案内板を設置しています。これにより異常発生時に照度が限られた状況においても隣駅までの距離が分かり、お客さまを安全に駅まで誘導できます。

〈設置区間〉

東横線：渋谷駅～代官山駅間、東白楽駅～横浜駅間
目黒線：目黒駅～洗足駅間
田園都市線：渋谷駅～二子玉川駅間、つきみ野駅～中央林間駅間
池上線：戸越銀座駅～旗の台駅間
東急多摩川線：多摩川駅付近～沼部駅間



蓄光看板